



令和4年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ

長野高等学校 学校長だより

(「学校長だより」はホームページにも掲載しています。)

令和5年

No19

2月16日(木)

新型コロナウイルス感染症の3年間を振り返る。

令和2年2月27日(木)に帰宅する途中、ネットニュースで当時の安倍内閣が「全国一斉休校措置」決定とのニュースを見て驚いたところから、異例尽くしの対応が始まりました。校長として、緊急事態に適切に対応することと、教育活動を可能な限り維持していく事を最優先に、前例にとらわれずに対応策を立案し実施していくことに腐心しました。**3年生の皆さんは、ほぼ高校時代まるまるコロナ禍での3年間でした。その3年間で簡単に振り返ります。**



緊急事態宣言中の令和2年4月24日(金)午後4時頃の長野駅コンコース。ほとんど人はいません。

【令和2年度】3月26日にオリエンテーション。4月4日

(土)晴天のもと入学式。入学式は大体育館で保護者1名のみ参加、国歌・校歌歌唱なし、来賓なし、短時間。登校4日間のみで再び4月10日～24日まで**臨時休校**。さらに5月6日まで**休校延長**。そこで4月27日以降は「Google Classroom」機能を利用して、教科担当からの指示・連絡や課題等を提供し、授業の代替(非同期型・オンデマンド型の**オンライン授業開始**)。5月22日まで**休校延長**。5月23日～31日は**学年別分散登校**(名簿番号による)。6月1日から**時差登校**(3年と1・2年とに分けて)で通常授業。休校期間中の授業等回復のため、6月～8月の行事予定を再編成。芸術鑑賞・春季クラスマッチ・夏の3年学習合宿等は中止。テスト期間や金鵒祭を短縮し、夏休みも4日程度短縮して授業時間を確保。秋季クラスマッチは春季クラスマッチの種目も合わせて実施し、終了後に金鵒祭でできなかった後夜祭の代替行事を実施。音楽会はホクトホールの中ホールを借り、業者に委託してDVDを制作し、保護者に販売。1年のスキー・スノゴ教室は中止、代替として日帰り行事等へ変更。2月に1年生全員にタブレット(iPad)を配布、活用開始。3月の米国リーダー研修は中止、代替行事として諏訪で宿泊して海外生徒と交流。



金鵒祭は2日間、オンラインを利用

【令和3年度】4月に2学年の研修旅行の変更を通知、台湾研修旅行を九州・大阪方面(長崎・別府・APU訪問・USJ)へと変更。6月芸術鑑賞は中止(北信高校連盟での判断)。夏の3年学習合宿は中止。8月30日～9月10日までは**時差登校**(3年と1・2年とに分けて)。この時からコロナ関連の欠席生徒のために授業の**オンライン配信**(同期型・ライブ型)を開始。9月13日から通常授業、秋季クラスマッチは延期。1年のスキー・スノゴ教室は中止、代替として日帰り行事等へ変更。1月27日～2月16日まで「**まん延防止等重点措置の適用**」により、生徒を名簿奇数と偶数の2グループに分け、1日交替で対面授業(登校)とオンライン授業(自宅)とする**分散登校**。卒業式は保護者1名参加可能。3月の特編授業は、1年午前のみ全員登校、**2年分散登校**で実施。3月の米国リーダー研修は中止、代替のAPUへの訪問・研修も中止。



研修旅行(APU 李先生の授業)

【令和4年度】5月には、学級閉鎖中でも抗原定性検査で公式大会等へ参加が可能。7月の「医療特別警報」に際しても従前の感染対策を行いながら教育活動を継続。台湾研修旅行と米国リーダー研修は代替研修の状況だが、芸術鑑賞や3年夏の学習合宿を3年振りに実施等、基本的にコロナ禍以前とほぼ同様の教育活動を実施。

(右)コロナ前と同じようなクラブ勧誘のチラシ（4月シンデレラ階段）



3年生が入学当初、休校期間に校長が配信した動画(担任紹介)のワンショット



令和2年5月11日（月）～19日（火） 各担任からのメッセージ(左から1～7組)

読書感想文長野県コンクールで、最優秀賞を受賞しました。

2年傳田乃彩さんが第68回青少年読書感想文長野県コンクールで最優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。傳田さんのコメント「瀬尾まいこ著『その扉をたたく音』は社会の中で中途半端な立ち位置の主人公が、自分の居場所を見つけていく物語です。自分自身が中学校の時に抱いていた気持ちや経験等に結び付けて書いてみました。中学から何度もコンクールに挑戦していて、全国へはこれで2度目ですが、最後に最高の成績がもらえて、とてもうれしいです。」



2年、課題研究発表 優秀者の表彰です。

盾の準備ができたので、優秀者の皆さんを表彰しました。「課題研究」は「国際交流」とともに、本校がSGH指定以来進めてきた新たな学びの一つです。自分で課題を見つけて研究・発表を行うという経験は社会人になってからも大きな意味を持つだけでなく、大学でも高校時代の実績を重視する傾向が顕著です。自分の興味・関心そして進路を意識して課題研究のテーマを設定してください。最優秀の2人（柳澤・中村さん）はSBCから取材を受けて、その様子は16日（木）14:20～SBCラジオ番組「ミックスプラス」で放送されます（ました）。



- | | |
|------|-------------------------------|
| 最優秀賞 | 柳澤奈優「いのち短し、語れよ生理」 |
| 最優秀賞 | 中村朱里「高校生×地域活動、結び付けるには？」 |
| 優秀賞 | 伊東賢冴「記憶神経回路メカニズムに基づく最も良い記憶方法」 |
| 校長賞 | 春日碧月「カビの発生しにくい家づくり」 |
| 優良賞 | 塩入太貴「MEGAQUAKE ～電磁気異常の謎～」 |
| 優良賞 | 湯本彩和「長野市在住の外国人児童の学習支援について」 |
| 優良賞 | 三井奈央「アイドルと社会」 |
| 優良賞 | 青柳知里「医療から見る今後の動物園の在り方」（敬称略） |